

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三井不動産ロジスティクスパーク海老名南	階数	地上4F
建設地	海老名市本郷字下谷津351番1 他22筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年10月26日
敷地面積	17,568 m <sup>2</sup>	作成者	銭高組一級建築士事務所
建築面積	9,538 m <sup>2</sup>	確認日	2022年10月26日
延床面積	37,458 m <sup>2</sup>	確認者	銭高組一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 2.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

**LR のスコア = 4.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 東名高速道路の寒川北インターチェンジに隣接し、海老名駅の南約5.5kmに位置している工業専用地域に海老名市住みよいまちづくり条例に基づき、物流施設を計画した。		
<b>Q1 室内環境</b> 該当なし。	<b>Q2 サービス性能</b> 将来の用途変更などを考慮し、階高、空間の形状・自由さ及び建物の積載荷重について、ゆとりある設計とした。また、空調・給排水配管は、耐用年数の長い部材・部品を選択した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地外周部に緑地を配置し、建築物による圧迫感を低減させる計画とした。また、敷地西側に屋外ミーティングスペースを設け、ラウンジとの一体的な利用を促し、豊かな空間を形成した。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明設備を採用した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型の小便器、大便器、洗面器を採用し、水資源保護対策とした。また、仕上げ材に有害物質を含まない材料を使用し、環境負荷削減を図った。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> の排出率=60%とした。燃焼機器の不採用にて、大気汚染防止対策とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される